

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公表番号】特表2007-501890(P2007-501890A)

【公表日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-004

【出願番号】特願2006-529791(P2006-529791)

【国際特許分類】

C 08 G 18/80 (2006.01)

C 09 D 175/04 (2006.01)

B 05 D 7/24 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/80

C 09 D 175/04

B 05 D 7/24 302T

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年5月14日(2010.5.14)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

・イソシアネート基の少なくとも95モル%が少なくとも1種のブロック剤によりブロックされており、

・4.0～21.0質量%のブロックトNCO基及び遊離NCO基(NCO、分子量42として計算して)を含む

脂肪族及び/又は脂環式ジイソシアネートに基づくポリイソシアネートであって、

ポリイソシアネートは、ビウレット基の構成成分として、ジイソプロピルアミノ、N,N-t-ブチルベンジルアミノ及びジシクロヘキシリルアミノ基からなる群から選択されるアルキルアミノ基1～20質量%を含むことを特徴とする、ポリイソシアネート。

【請求項2】

A) 第1の工程で、

a) 8.0～28.0質量%のNCO含有量(NCO、分子量42として計算して)、及び2以上のNCO官能価を有する少なくとも1種のポリイソシアネートを、

b) ジイソプロピルアミン、N,N-t-ブチルベンジルアミン及びジシクロヘキシリルアミンからなる群から選択される少なくとも1種のアルキルアミンと、

ポリイソシアネートa)からのNCO基の2～96モル%が尿素基に転化されるように、反応させ、

B) 次いで、該尿素基の一部又は全部を、

c) 任意に触媒の存在下に、

ポリイソシアネートa)からの更なるNCO基と、更に反応させてビウレット基を得、

C) 最後に、残余の遊離NCO基を

d) 少なくとも95モル%の程度までブロックする

請求項1に記載のポリイソシアネートの製造方法。

【請求項3】

触媒成分c)として、0.05～1質量%のヒドロピバリン酸又はピバリン酸を用いる

請求項2に記載の製造方法。

【請求項4】

被覆又は成形品の製造の為の、請求項1に記載のポリイソシアネートの使用。

【請求項5】

- I) 請求項1に記載のポリイソシアネート 1 種又はそれ以上、
- II) 1 . 5 超の平均官能価を有するNCO 反応性化合物 1 種又はそれ以上、
- III) 任意に溶媒、並びに
- IV) 任意に助剤及び / 又は添加剤

を含む 1 成分系被覆組成物。

【請求項6】

請求項5に記載の被覆組成物から得られる被覆。

【請求項7】

請求項6に記載の被覆により塗装された基材。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

本発明は、 · イソシアネート基の少なくとも 95 モル% が少なくとも 1 種のブロック剤によりブロックされており、

· 4 . 0 ~ 21 . 0 質量 % のブロックトNCO 基及び遊離NCO 基 (NCO 、分子量 42 として計算して) を含む

脂肪族及び / 又は脂環式ジイソシアネートに基づくポリイソシアネートであって、

ポリイソシアネートは、ビウレット基の構成成分として、式：



(式中、 R¹ 及び R² は、相互に独立して、脂肪族又は脂環式 C₁ - C_{1~2} アルキル基である。)

で示されるアルキルアミノ基 1 ~ 20 質量 % を含むことを特徴とする、ポリイソシアネートを提供する。